

やまがら



一人ひとりが大切にされる
人間尊重社会を実現しよう。

- 松山市立の総合病院を設立し、コロナ等感染症対策を含め市民の命を守ろう！
- 官民癒着や税金の無駄遣いをやめさせ、高い市民負担を軽減させよう！
- 教育と子育て予算を増額し、医療・介護・福祉を充実させる市政に転換させよう。
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実施して元気な高齢者が活躍する街にしよう。
- 伊方原発をやめて、自然エネルギーへの転換を促進しよう。(PPS電力の利用促進)
- 命、人権、環境、平和を大切にし、子どもたちに安心未来を引き継ごう。

毎年、冬には自宅に来てくれます。

2021年
夏号
No.43

松山市議会議員
梶原ときよし
会派：ネットワーク市民の窓



発行・梶原ときよし

ワクチン差別を生まぬよう、 知恵と工夫でワクチン接種を進めよ!!

真面目で従順な市民から怒りの声!! ワクチン接種予約の市民への情報格差の愚行。
一般市民には公表せず、本庁や公民館でワクチン接種予約を代行サービス。

ワクチン接種を進めるためには、
知識と工夫が必要です。各々の立場や状況に応じて、最適な方法を見つけてください。
また、地域の医療機関や保健所などに相談することも有効です。
最後に、自分自身の安全と他者の安全を守るために、必ず接種を受けることを心がけましょう。

松山市定例市議会(年4回)に
11年間、45議会連続登壇を
続け、市政に喝を入れています。

※2021年6月現在(連続登壇記録更新中)

2010年の松山市議会議員当選以来、全定例議会で質問あるいは討論を行ない、一問一答方式の導入をさせるなど、これまでのセレモニ化した議会に風穴を開け松山市の監視を続けています。



議論を植え付け拡大
させるなど、著しく
人権意識に欠ける野
志市長だから、とて
も心配ですが、充分
な人権配慮がなされ
ていない段階の本市
においては、決して
団接種を行ってはな
らないと要えます。
コロナはじめに加え、新たなワクチンといじめ
が起きないように、今の内から反差別の政策を
考えておく必要があるのではないかでしょうか。
知恵と工夫でワクチン差別を克服し、スピ
ード感をもって本市のワクチン接種を進めていく
よう、一言、野志市長にくぎを刺して質問に入
ります。



2面へ

自分の土地を2つに分筆しただけで、なんの環境変化もないのに
土地固定資産税を前年比3.5倍(350%)課税に
引き上げた松山市の暴挙に同意した委員の再任に反対!!

私は議案第67号
固定資産評価審査委員会委員の選任に關
し同意を求めることについて、提案されて
いる現在委員であるN委員の再任には同意
できないことを表明し、反対の討論を行
います。

N委員は3年前に本委員会委員に就任さ
れ、今までに依頼された5回の委員会に
出席され2件の審査事案にかかわったとの
実績報告がなされていますが、その立ち位
置が固定資産審査委員会委員として、松山
市から独立した第三者機関としての公平・
公正さに大きな疑問を抱かざるを得ない、
科学的な根拠を示さない審査決定に深く関
与しており、審査申請を行った市民の純粋な
訴えに対し、客観的判断を行うために不可
欠な専門家の意見を聞くことも行うことな
く行政の追認機関の「よく振舞つたことは
審査委員としての適性に欠けていると」言
わざるを得ず再任に反対するものです。

問題のN委員の審査案件は、昨年5月19
日に出された、本市の市街化区域内農地の
固定資産税について、毎年米作りに励んで
いる眞面目な農家の方から「自分の所有す
る1,142m²の田を571m²づつ南北に分
筆して二つに分けただけで、周辺環境は46
年前から何一つ変わらないのに、固定資產
税が、前年に比べて大幅に上がったことは
納得できない」との申し出でした。

私の方にも相談がありました、市民の
申し出に伴い同年7月16日に開かれた審査
委員会の審議内容の会議録を見て、私はこ
とを確認しました。

比350%課税
を、追認するな
どということは
明らかに市民感
覚から大きくか
け離れた社会意
識の持ち主だと
考えざるを得ま
せん。

松山市固定資
産評価審査委員
会に持ち込まれ
るのは、行政が
行う課税内容に
納得がいかない
市民が審査をお願
いするものであり、少
なくとも市民の理解
を得るように科学的根
拠をもって丁寧な説明
をする作業くらいは充
分に行うべきではない
でしょうか。

結論から先に述べましたが、今回の正面向
線を現場の状況を考えることなく、46年前に業者
が宅地分譲する

土地固定資産税
前年比3.5倍
(350%UP)

解りやすく言えば、自分のもつている田
んぼの横に他の業者が、宅地分譲のために、
自分は使えない開発道路を勝手に造つただ
けで、自分の土地の価値には何ら変化が無
いのに、松山市が固定資産税をいきなり3.
5倍に引き上げたというものです。

市民のみなさん、あなたたつたらこんな
ことが許せますか?どう考えても人の血が
流れている施策とは思えません。

審査委員会委員に申し上げたいのは、
員は不動産評価や都市計画の専門家でもな
いのに、本市の道路課や下水道課いは都
市計画課や建築指導課のプロの説明や助
けを受けることなく、「指定道路だから建物
築を含め何ら束縛もない」という固定資
税課職員の恥を知らない間違つた誘導に
し無意識に答えたことあり、客観的な判
断を怠つたことは取り返しがつきません。
またN委員の前回委員就任時の抱負と次
期委員就任のための抱負が全く同じ内容で
あり、市民のために一所懸命委員を務めた
いという気概を感じることできません。
本件審査にかかわった他の委員同様にや
めていただきたいとの思いを込めて、私のや
不同意の討論とします。

HPでは梶原の活動予定や
全定例議会での質問登壇が
動画でご覧いただけます。

市政他、何でも相談をお受けしています。
ご連絡ください。

ホームページ

梶原ときよし 公式ホームページ

検索

梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2
TEL 089-947-2258
FAX 089-947-2259

携帯 080-5669-8586
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

●午後1時～午後5時まで(月～木)
●金・土・日・祝日はお休みです。

お近くにお越しの際は、
ぜひお立ち寄りください。
あります。

註我會質問

THE FERN

ワクチン接種のプロセスにおいて、
市民に情報格差をつけたことは許されない。
なぜ、こんな愚かな行為を行つたのか？

65歳以上の市民のワクチン接種
約方法は電話とネット予約だけ

記載されていたが、実際には市所本庁舎や公民館でネット予約行サービスが行われていた。野志市長が市職員家族や公民館係者など、市長の周辺にのみ情報を出して、議員や眞面目で従順市民には情報を隠したことは許れないと思うが、市民に情報格をつけた浅知恵の訳はなぜか。

原議員 で、従順な市民は一所懸命何十回もつからぬ電話をかけ続け、何時間もかけてうとのことつながった市民もいれば、電話はらちが明かないので、何日か後にケーキ貰つて知り合いにネット申し込みを頼んじやつた」と言つてのんきに温泉に入つて市民もいた等の反面、「公民館に行つたら行くをしてくれる言いよるけん、言つたらす

いた市民もいた。市長が市民に対し情報格差をつけたことは、真面目な市民をばかにしたことになるのではないか。

(2)議員にも情報を隠したことは、市政三元代表制を否定する市政運営であり、議員の行政監視権までも奪つたことになると考えるが市長の所見を求める。また、今後のワクチン政策だけでなく、「狼市政」とやめされないためにも「しつかりとした市民への謝罪を行い、市政の信頼回復に努めるべきではないのか」

感染拡大を防止するため、「密」を避けるよう注意喚起している中、**対面での受付窓口を開設し、案内すると、過度に「密」になる危険を予測**していました。

そこで、「ご家族などの協力を得て、可能な限りオンラインでの予約にご協力いただくことを基本的な方針として臨みました。

一方で、本庁や派出機関の窓口にお越しになる方がいらっしゃることも想定していましたので、通常業務を行う中で、必要な方にはお手伝いさせていただくことにし、**あえて、特定の窓**

市街地再開発事業補助金1億2,000万円交付後、僅か1年で事業を休止した準備組合に対し、明確な休止理由を求めるべきではないか。

桝原議員

本市は、昨年2020年2月28日に、「一番町一丁目・歩行町一丁目地区第一種市街地再開発事業に携わる準備組合に対し、約1億2,000万円を支出したが、僅か1年で今年**2021年3月12日の準備組合の臨時総会で休止の決議を行つた**ようである。本市に対しても、3月24日に「昨今の経済状況を鑑みて事業変更を行うため」との説明があつたようだが、大幅な事業の遅延が予想される。僅か1年で事業計画が休止されるような準備組合の事業に事業費の3分の2に及ぶ補助金を出すこと自体が安易すぎるのではないか。また、詳細な理由を開示させるべきではないか。

平成29年5月に、地元権利者から成る準備組合が設立され、ホテルや住宅、広場などを整備する再開発事業が計画され、本市は令和元年6月、都市計画を決定しました。令和元年度の

開発・建築担当部長の答弁

梶原議員

付は適切だつたと考へています。
また、休止の詳細な理由を求める必要はない
と判断しています。

本市の市街地再開発補助金交付要綱第11条には、「補助事業者は、補助事業が予定の期間内に完了しないと見込まれるときは、速やかに補助事業遅延等報告書を市長に提出し、その指示を受けなければならぬ」とあるが、市長は、準備組合の決定的な事業の遅れに対しどのように指示をしたのか。

市街地再開発事業補助金交付要綱で定める補助事業は、複数年に亘る再開発事業全体ではなく、年度毎に交付決定を行つた個別の事業を対象としています。

序内雜音のヒトコマ

職員 A

ダメです！
補助金は全て市民の税金です。
市長のポケットマネーではありません。
明確な休止理由を求めるのは当然です。

梶原 時義の2020年度 政務活動費支出報告

Category	Amount (yen)
事務所費 (Office Expenses)	420,000
広報費 (Publicity Expenses)	462,000
支出合計 (Total Expenditure)	1,325,018
議会報告 (Parliamentary Report)	437,018
「やまがら」送付 (Delivery of 'yamagala')	437,018

収入合計 1,325,018円

政務活動支出報告について
2020年度の政務活動費につきまして
松山市議会政務活動費交付に関する
規則第6条の基づき上記の通り市長
報告を行いました。
※上記以外に必要な調査研究費や活動費
事務所の人物費を含む経費・ガソリン代
電話代等は計上していません。
全て自己負担であります。

A man with glasses and a striped shirt is speaking into a microphone at a wooden podium. Behind him, several other people wearing face masks are seated at a long table. The setting appears to be a formal hearing or meeting room.

今議会は一般質問と固定資産評価審査委員の任命同意に反対討論を行い、2度登壇しました。

ワクチン接種による副作用(反応)被害が出た場合の、市民に対する本市の対応を、補償を含め明らかにしておくべきではないか。

保健・福祉部長の答弁

新型コロナワクチン接種では、副反応情報は、国が開示し、また、副反応による健康被害は、極めて稀ではあるものの発生することがあるため、国の責任で救済制度が設けられています。その中で、国が、接種後の副反応による健康被害であると因果関係を認めた場合には、医療費や障害年金等の給付による救済が受けられますので、本市独自の補償は考えていません。

浅い治験データしか存在しないコロナワクチン接種には、市民の多くが不安に思つていいる。

副作用（反応）情報の積極的開示と万が一の補償は、行政責任では無いでしょうか？



梶原議員

2021年
6月23日

An illustration of a man with dark hair and glasses, wearing a grey suit jacket over a white shirt, looking up and pointing his right hand towards a large blue vertical banner. The banner has the text '2021年6月23日' (June 23, 2021) written on it in white. To the right of the banner, there are several bright yellow sunflowers with green leaves.